その後の方向性が定まってい 山で言えば る登山とパ えていると言われる。 に尽きる。 題点は本多勝 登山界は大きな転換期 岳会は多くの問題をか 18 初 イオニア 登 1 オニ 頂 一氏が指摘 0 ワー 時 T

ワー

代

な

カラコ

ル

チベットあたりへ行けば、

まだ

ル

i,

アル

18

インスタイ

0

日本山岳会への提言

ルピニズムを超える

0)

岳会の方向性を探ってもらった。 その最大の が終 クの関係 して にある。 登 11 ニズムは、言わばアルプスを舞台 の低迷の根源にある。 のだ。それ にした初登頂競争であった。 プス 価値 カサスからヒマラヤ、 \exists 1 の未踏峰がなくなると、 は初登山にあったのだ。 口 ッパに興った近代アル が、 まの H 本山 登山 岳会 コ T ピ

56

は頂点に達し、 時代に登山の 0 時代に移 る。 やがて終焉を迎 18 イオニアワー そ L て、 E ク ラ

に壊れたのである。 山家の大きな夢が達成され、 山界にとって象徴的な出来事 隊によって登頂された。これは登 け渡し、 に多くの80 0) モランマ) 幕開けであった。 フランス隊によって登 ナスル がヒマラヤのジャイアンツ登頂 950年にアンナ |界最高峰の初登頂という登 初登頂を手にした。 3次にわたる遠征の結果 最高峰エヴェレス は1953年に英国 00以峰 日本隊 1 9 5 0 が 頂 頂 ル 1 上を明 1 3 ナ であ 同 子 9 時

その最大の原因が初登頂の終焉にあると考える四手井靖彦氏に、

岳会の停滞の原因はどこにあるの

か

本の登山界をはじめ山

Ш

同時に、 がいる。 類の到達した輝ける偉業であると いるのだ。 いだろうか 求め続けるのは、 なくなったわけではない。 ム信奉者の一つの生き方である たあとの 未踏の8000に峰がなくな それは今西錦司氏風に言え な未踏 確 かに、 I 「落ち穂拾い」 ヴェレスト登頂は人 すでに命運は尽きて 峰は 未踏峰 近代アル ある がす と言う人 ではな ルピニズ それを

徴しているのである。 ニズムの終焉も意味していた。 界は共通の目標を失った。 初登山時代の終焉は近代アル の時代に入ったと言える より困難な 初登山時代の終わりを象 先鋭的 登山 リエ を目指 ーーショ すも 登 E



2007年(平成19年) 7 月号(No. 746) 日本山岳会 The Japanese Alpine Club 定価1部 150円 URL@http://www.jac.or.jp e-mail@jac-room@jac.or.jp

目 次

日本山岳会への提言

近代アルピニズムを超える	
方向は何か・・・・・	l
首都圏の支部化一理念と方向性・・・	1
栃木支部の設立と抱負	1
茨城支部設立と経緯の報告・・	1
千葉支部の設立総会と祝賀・・・	5
英文ジャーナル第8号の発行に	
	ĉ
東西南北 · · · · · · · · · · · · ·	3
二代目シェンク作のピッケル	
シュラギントワ仆兄弟による見事な石版画	
活動報告1	0
資料映像委員会/科学委員会	
山研運営委員会/新土曜会	
支部だより・・・・・・1	2
北海道/福井	
図書紹介 · · · · · · · · · 1	3
図書受入報告1	
会務報告1	
ルーム日誌・・・・・・・1	
会員異動1	7
INFORMATION · · · · · · 1	
さんけん通信・・・・・・1	

水・金 ・・・・・・・ 13~20時

第2、第4土曜日 · · · · · · 閉室

第1、第3、第5土曜日 · · · 10~18時

夏季休室 …… 8月11日~8月19日

年登山者である グを席巻しているのはこれら中高 0 山はおろか、 登山者が増加した。 百名山」をテー の方向 海外のト を目 マにする中 いま、 レッキン 方で 日本 高年

うに、 どう評価し 歩むのではないかという気がする 好者を知っている。 と断言するフリークライミング愛 まで登っているのだ。 たスノー が主たる目的である。 必ずしも山頂は目指さない。 とは別の、 レジャー ろうか。雪上歩行の道具であった ない人工壁登攀が登山と言えるだ 思える。 から人工壁に移行しているように にしたこうした新しいスポ スポーツの舞台は、 生まれた。 登山の形態も細分化した。 クライミングという新し 「スキー愛好者も増えている。 近年はスノーシューを履い が登山に利用され、 フリー ボー や競技として発展したよ 「ピークには興味がない 新しいスポーツとして 競技的要素の強いこ どこに境界線を引く ダー クライミングも登山 がかなりの高度 山とは関係 雪山 驚くべきこ 自然の岩壁 やがて を舞台 い分野 1 ツを フリ

> 携帯電話を持ち、 6年にエヴェレストで起きた大量 と書いている。 の金持ちの道楽になりつつある」 は「いまやセブンサミッツは世 か。この大量遭難の悲劇を描 化と言わずに、何を変化と言うの 頂した。これをヒマラヤ登山の変 パに押され前から引っ張られて登 ークの社交界の花形女性がいた。 遭難で生還したなかに、ニューヨ らせてもらえるのである。 お金さえ出せば8000以峰に登 た登山法も登場した。 「空へ」の筆者ジョン・クラカワー 商業登山というこれまでなかっ 後ろからシェ 極論すれば、 199 いた 界 ル

した。 社はかつて初登山を後援し、 をやである。 いわんや、 7000に級には見向きもしない マラヤ登山には魅力がなくなった。 アルピニズムを支える役割を果た マスコミの関心も変わる。 新聞 6000に級において テレビにとって、 近代 新聞 E

がある。 年少登山家とか早登りなどに 短時間で登れるかが大きな関心の から昭和の初期にかけては女流登 家がもてはやされた。いまは最 マスコミは移り気である。 エヴェレストにどれだけ 関心 大正

あり、 脚 ニングという競技が 富士山の登山競争が もしれない。 ャンルが生まれるか 登山法の一 されるはずである。 のように、 それはマラソン競争 的になる。 ル 光を浴びている。 でも同様の催しがある。 レーシアのキナバ 早登りというジ トレールラン 分派とし 常に そし すでに

付けていたのである。 登山に興味を失ったのだ。 ない。学生が未踏峰のなくなった クの時代が去ったことと無縁では 現象もあろうが、 岳部が存続の危機にある。 部中のものがあり、 名門と言われた山岳部ですでに休 ニアワークは優れて知的な行為で り、 大学の山岳部が衰退している。 それがかつての 趣味の多様化といった社会 パイオニアワー 多くの大学山 若者を惹き パイオ 時代の

> 滞の一つの現象ではないか 見えないから過去を振り返る、

それでも山へ行く人がいる。

未

恒氏らの名前を散見する。

未来が

沈

い。冠松次郎、

木暮理太郎、

槇有

すのか。 なか こうした登山界をとりまく状況 その方向性が定まってい 日本山岳会は何を目指

を言葉通り、

素直に受け取っても 山があるから登る

しかし、

という意味での答えだと考えてい

記者の問いに対して「愚問だよ」 名なマロリーの言葉がある。

新聞

り登山愛好者はなくならない。

有

踏峰はなくなっても、

山がある限

0



マナスルに初登頂を果たした日本隊

ナ

過去

来への展望がうかがえない。

ないように思える。

会報からも未

みついているばかりでは発展がな

の栄光はよい。だが、それにしが スル一本化の時代があった。



後方は雷鳥沢のキャンプ地

立山・一ノ越を目指す高齢者登山隊(平均年齢67歳)。

を想定していない。 支部に係わる項目は一 本山岳会は発足時から支部の活動 ということは、 支部活動のあり方である。 後に一 つ具体的提言をして 支部は「治外法権 定款を見ても つもない。 H お

新しい登山、 向を示すべきであろう 山岳会のあり方 0

方

的

存在なのである

岳会は1905年に東京

で設立されている。

京阪神におけ

193

当時

も重みを持つが、パイオニアワー られないし、 原武夫氏は「登山とは文化行為で ない。 が クの看板はもう下げてもよい を目指すという登山の原点は捨て に近い」と語ったそうである。 ある」と書き、 さわしい方向を定めなければなら 来ているように思える。 登山人口が高齢化しているとい それが現実である。 永久不変の価値はない。 これら先覚者の メスナーは それにふ 「芸術 言葉 時 期 頂

えることはあっても、

減ることは

今日、全国に25支部、

今後も増

ないだろう。やがて、一県一支部

のは戦後になってからである。 なかった。県単位の支部ができる

らない。

初登山時代が終わって、

して先見性を示し、登山界にお ない。歴史と伝統のある山岳会と

11

で、

関西が一支部という存在では

は拠点を東西に分けるという構想 5年に関西支部が発足した。 る登山活動が活発になり、

て指導的役割を果たさなくてはな

の存在理由もある いるからこそ、

H

本山岳会はただの山

岳会では

なった。「山があるから登る」人が よいのではないかと考えるように

日本山

岳会の今後

阜支部の森づくり運動などの 係わりである。 尽くした登山家が自然保護の啓蒙 白神山系、 とではないか。すでに青森支部と 運動に立ち上がる。 自然を享受し、 あり、 つの方向は自然保護運動 注目してい 首都圏の高尾の森、 自然の価値を知り 最も深く山に接し、 素晴らしいこ への 動 岐 き

0)

重要性は高まるであろう。

いつ

いる現状にあって、ますます支部 会員が支部を拠点として活動して そういう時代にあって、大多数の という時代がくるかもしれない。

岳会こそ登山文化の継承者として

山界はそれをしていない。 かってそれを宣言した。

日本山

た。新憲法を発布して、世界に向 戦を機に民主国家へ生まれ変わ ればならない。日本という国は終 場合、その目標を明らかにしなけ 新しい時代に生き続けようとする

0

だが、

登

0 幹部の交代がないまま一 的 もあるが、支部というものを な支部もある もあれば、 査しているわけではないが、 部規約を作っている。 活動はさまざまである。 いてよいだろうか。 までも「治外法権」的存在にして サロンと化した名前だけのよう 総会を東京以外で開催する試み はなはだあいまいである。 スポーツアルピニズム追求型 地域色の濃厚な実直型 支部の形態、 会友制度な 部の委員 独自の支

> らない。 の中に、 の均 動方針に大きな開きがあっては 的組織である。 いけない。 ているはずである。一つの山岳会 る。会員はすべて同じ権利を有し まで日本山岳会の枠内にある便宜 支部は独立機関ではない。 日本山台 別の山岳会をつくっては 支部による規制や、 同質性が必要ではない 岳会は単 そこにはある程度 の組織であ

ネットを使えば、 時に全国の会員に伝えられる。 T時代と言われる。 すべての支部はすべての会員に開 たというデータがある。 トの利用者が全人口 かれた存在であるべきである。 閉鎖的体質を避けねばならない 支部の情報は インターネッ の60%を超え インタ 瞬 1 I

活動する。高所における一部の会 地の支部が同じ仲間として交流 れば、 こそ日本山岳会の望ましい 員が常に顔を合わせながら各地 員の初登山に代わって、 こへでも日帰りが可能である。 躍的に発展した。航空機を利用す ないだろうか 山と地域の活動に結集する、 通信のみならず、交通体系も 極端に言えば、 日本中、 全国 これ の会 تع 0 各

先鋭

調

首都圏の支部化――理念と方向性

平林克敏

06年7月の理事会で、支部化推進の再構築を目指すというものだ。 対別公共性の高い法人として、効 より公共性の高い法人として、効 より公共性の高い法人として、効 より公共性の高い法人として、効 が の 再構築を目指すというものだ。 首都圏在住の会員は、約244 首都圏在住の会員は、約244 首都圏在住の会員は、約244

縁」を活かすことが必要と考える。縁」を活かすことが必要と考える。。場に、地方るものと考えられる。また、地方るものと考えられる。また、地方で孤立している会員は、800名を超えると予想される。これら会員超えると予想される。これら会員超えると予想される。これら会員が、「止まり木」や「集まる術すらめ、「止まり木」や「集まる術すらめ、「止まり木」や「集まる術すらめ、「止まり木」や「集まる術すらめ、「止まり木」や「集まる術すらめ、「止まり木」や「地域性」と「地域性」と「地域性」と「地域性」と「地域性」と「地域性」といる。

事とした。 の首都圏の支部化の将来に備えるのよい千葉支部の創設を例に、他

現在、支部長の役割や権限などが議論されているが、会員数22名から300名を超える支部までさまざまである。この現状を考慮すれば、一律に同等な役割や活動を期待する事は困難で、支部のブロ期待する事は困難で、支部のブロック化を進める事が将来最も重要する視点となる。当会活動の多くは支部によって支えられ、「支部が重要」との見解は全会員の一致するところだ。

5 状の25支部に加え、将来設立が期 を推進してきた次第である。 ればとの思いを込め、この支部化 とその活性化を目指すことができ れる常務理事 らびに首都圏ブロックから選出さ 待される首都圏内の各支部を加え て構成される新しい山岳会の組織 ック)を進める。このブロック た支部のブロック化(8~9ブ 支部化を推進する事により、 それぞれ選出される理事、 (5~6名) によっ な 現 か U

栃木支部の設立と抱負

07年5月27日、宇都宮市のコンセーレにおいて、宮下秀樹会長以セーレにおいて、宮下秀樹会長以下本部役員4名にも出席していただき、設立総会を開催した。支部長には日下田實氏が就任、本会26番目の支部として発足した。総会番目の支部として発足した。総会には支部入会者33名のうち25名がには支部入会者33名のうち25名がには支部入会者33名のうち25名ができた。

本県の北西部は日光国立公園の本県の北西部は日光国立公園の海山の名山がそびえ、さらには奥海山の名山がそびえ、さらには奥田光、那須高原、塩原渓谷などの田光、那須高原、塩原渓谷などの四季折々の美しい自然と、鬼怒川・川治・奥鬼怒・塩原・那須などの門治・奥鬼怒・塩原・那須などのの歴史的文化施設が一体となっての歴史的文化施設が一体となっての歴史的文化施設が一体となっての歴史的文化施設が一体となっての歴史的文化施設が一体となってある人を魅了している。

なクラブライフを創造しながら、まれた地域性を活かし、会員相互の交流を深め、地縁による小集団の交流を深め、地縁による小集団の交流を深め、地縁による小集団の会員一人ひとりが参画できる「楽会員一人ひとりが参画できる「楽

進め、比較的本部からも立地条件

この意味から、

北関東の支部化を

して、楽しいクラブの集いが形成動の企画・立案・実施の過程を通

小単位の組織

「支部化」に

クラブは輝きを増すだろう。

すなわち、各支部における諸活

の し 賀 が 会 26 部 た 以 ン

26番目の支部として発足した栃木支部

たい。 (事務局長 渡邉雄二)と考えている。 と考えている。

茨城支部設立と経緯の報告

7年6月15日、土浦市ウララビル内において、宮下秀樹会長以下本部役員3名の出席のもと、設立総会を開催した。会員13名の参加のうちに、経過報告および規約、のうちに、経過報告および規約、のうちに、経過報告および規約、会の27番目の支部として発足した。 支部開設の発端は、06年11月24日に平林前副会長(支部化委員長) 日に平林前副会長(支部化委員長) で主催する会合に参加したことにの主催する会合に参加したことに

平林委員長以下3名の理事と、 院前院長)を選出し、 起人代表に星埜由尚氏 希望と、 なった。結果、 会員への支部設立の意思確認を行 人の発起人で初会合を持った。 ことができた。 会員5名より発起人の承諾を得る 支部設立についての意見を打診し 人に対しアンケート調査を行ない 次いで、2月16日につくば市で 9人の同意・非入会とな 17人の同意・入会 3月20日に (国土地理 発 6 6月15日、設立総会を開いた茨城支部

> "という回答を得た。これに対し、 とビジョンを披露した。 役員各位よりご祝辞を賜り、 の復帰要請を行ない、21人の同意・ 同意、 とすることを条件として承認する 8日に理事会あてに提出。 約案および年間活動計画案を4 由尚支部長が、 日の理事会で "入会員を20人以上 人会希望会員を得ることができた。 設立総会では宮下会長をはじめ 非入会の会員と休会会員 お礼と今後の抱負 4月 星埜 Ĥ

した。さっそく、茨城県在住の41

て平林委員長が熱く語られ 始まる。支部設立の必要性につい

同感

これに基づいて設立趣意書、

規

でも、

だき 日下田栃木支部長より祝電をいた 厚く感謝する次第である。 平林前副会長、 関西支部

事務局長 浅野勝己)

千葉支部の設立総会と祝賀

れも原案どおり可決承認、 度事業計画及び予算、 約60名が出席し、 とその祝賀を開催した。 京成ホテルミラマーレで設立総会 目の支部として発足した。 審議に先立ち、 07年6月24日、千葉市中央区の について審議した結果、 設立発起人代表 支部規約、 役員の選任 総会には 07 年 いず

> る には、英国と同じで、高い山がな うな支部になることを願ってい 0 1 千葉支部が発足の運びとなったこ にあたる。この記念すべき年に、J その英国山岳会の創立150周年 年に100周年を迎えた。今年は、 国山岳会を見習って設立され、 挨拶があった。 とは非常に喜ばしい。 ACの新しい出会いの場。として、 そこに、英国山岳会と同じよ 「日本山岳会は、 (中略) 千葉 英 05

行した千葉県であるが、この総会 全国に先駆け 里山条例」 を施



28番目の支部として発足、祝賀会での千葉支部

が選出された。 善吉前会長と、芳賀孝郎元副会長 監事となった。顧問として、 選任。赤井一隆氏、南井英弘氏 支部長、 や事業計画が承認された。役員に と保全が盛りこまれた、 進、 強会等の開催 ての「里山・里山文化」 ついては、 日本人の心のよりどころとし 登山の指導奨励に必要な勉 副支部長に藤井正善氏を 満場一致で篠﨑仁氏を 自然保護運動の推 の再発見 支部規約

と述べていた。 寄せ、特色ある支部を目指したい 芸術、文学等について学び、 きた諸先輩にならい、 のである。さらに、登山団体とし こそ日本人の美しい心根を育むも 四季折々に移り変わる里山の風景 良さを守り、次の世代に伝えたい 向 に目を向け、登山を通じての学術 て、パイオニアの役割を果たして け、 篠﨑支部長は 誇るべき里山に学び、 「まず県内に目を 世界の山々 その

染みの「福井酒造の銘酒」、平山 部 会長から「南極氷」なども届 からのお祝い品、 総会終了後の祝賀会には、 盛大な宴となった。 晩餐会でお馴 各支 出けら 前

津田麗子

として芳賀孝郎氏より次のような

英文ジャーナル第8号の発行にあたって

中 村 保

がら写真の比較で分りやすくまと 河後退の観測記録もアマチュ

アな



B 5 判142ページ (うちカラー80ページ)

になります。 10冊になり、 別冊を含めて今回の号で都合 001 年に創刊号を出して以 創業期の締めくくり

げました。特筆すべき成果として、 スル、 を飾りました。凋落に歯止めがか 同じ原稿が英国 紹介であった100周年記念事業 0周年記念号を補完するため、 にも載ります。 に胸を張って発信できる記録です からない ローツェ南壁の冬季初登攀で冒頭 東海支部のロー 序章では昨年のJAC創立10 日本の分水嶺踏破を取りあ 、日本の登山界が唯 [Alpine Journal] ・ツェ南壁、 世界 7

録を紹介し、第2部で今日的なテ マである気候の変化と氷河変動 第1部で登攀と探検・ 冒険の 記

られないとの意外な報告です。

小林尚礼氏の梅里雪山の明永氷

ますが、

カラコラムでは後退は

では氷河は顕著に後退しつつあ

界の耳目を集めています。 査の素晴らしい未踏峰 を特集しました。 今回 一の号の 自 玉

た発信でした。 心を寄せていますので、 こぞって地球温暖化問題に強い ンポジウムでは「気象変化と氷河 れたアメリカ山岳会年次総会の テーマでした。 今年3月にオレゴン州で開催さ 世界の登山界は 時宜を得 関

タンヒマラヤやチベット、 比較した労作です。 の写真およびグーグル・マッ 年間の消長を探検家の地図と現在 利氏のカラコラムの氷河の る発表です。 いた調査報告は世界的にも価値あ 天山のフィールド・ワークに基づ 岩田修二立教大教授のブータンと な視点からの学術的な論文です 古屋大学教授の寄稿はグロー 氷河学の第一人者・ インド、 地図の泰斗・ ネパール、 それで分っ 藤田耕史名 長岡正 天山 1000 プを ブー バ た Ш

ます。

が閉鎖的で、

11

かに海外の登山界

1

が深まるにつれ、

日本の登山界

っていますが、

海外との

コンタク

から孤立しているかを痛感して

問題は引き続き取り上げてゆくべ アル きテーマでしょう 速に関心が高まりつつある温暖化 有益なリポートです。 くの反応が寄せられてい タイ・ モンゴルの 海外から多 ます。 急

です。 のイリ 海外の反応は若手の気鋭のクライ では日本隊の記録は寂しい限りで 序章のローツェ南壁以外には 1部に戻りますと、 横山勝丘氏の南米ボリビア マニ南壁新ルート開拓だけ 登攀の

7

きあ 象外です。 つの外国 が増えていますので、 エイジ・レコードや公募登山は対 の探査・踏査を対象としています。 は初登頂、 Journal』と同じく、 an Alpine Journal 方針は『Alpine Journal』 とは情報交換のネ [Japanese Alpine News] 充実に寄与しています。 がり、 の山 一方、 新ルート開拓、 相互に記録を提供し 岳ジャ 外国からの寄稿 " 1 掲載する記録 1 これが内容 Himalayan ワー ナル [Americ 未踏域 0 クが 編集者 編集 3

大きいようです。

シルバー・ター

トル隊の東チベット・

崗日嘎布 の写真は

世

険の部のほうが海外からの反響は

攀の部よりもむしろ探検・

뒴

た秀逸な報告です。 調査記録 門田勤氏 0

個人手配旅行から人気のトレックツアーや エクスペディションのアレンジまで。充実 度が違う「旅」のプランニングをこころがけ ています。山旅などあらゆるジャンルを取 り扱っています。お気軽にご連絡ください。

株式 アトラストレック



東京/〒160-0008 東京都新宿区三栄町25 三栄ハウス202 TEL 03-3341-0030 大阪/〒540-0012 大阪市中央区谷町3-4-5 中央谷町ビル501号 TEL 06-6946-9111 名古屋/〒464-0807 名古屋区千穂区東山通り5-113 オークラビル6F TEL 052-788-2422

英文ジャーナル『JAPANESE ALPINE NEWS』第8号発行

編集人 中村 保

『Japanese Alpine News Vol. 8 May 2007』を5月末に発行しました。 海外の130の団体、570人の個人に送付、知名度も上がり欧米の評価は幅広く定着しつつあります。 内容(B5判142ページ、カラー多数)の目次は下記のとおりです。 購入希望の方々には1部1500円(送 料込み)で販売いたします。 JAC事務局・図書担当の田村典子さんにコンタクトして下さい。

Japanese Alpine News vol. 8 May 2007 目次

■JAC Centenary Projects(JAC100周年記念事業)

Lhotse South Face Winter Ascent

(ローツェ南壁冬季初登攀 JAC東海) 田辺 治

50th Anniversary of First Ascent of Manaslu

(マナスル登頂50周年記念行事) 田辺 壽

Manaslu: Notable Ascents 1950-2006

(マナスル登攀史 1950-2006) 池田常道

The Great Divide of Japan (日本の分水嶺踏破)

福山美知子

Part I Climbing and Explorations & Adventures (第一部 登山と探検・冒険)

■ Climbing (登山)

First Ascent of Panbari Himal

(パンバリ・ヒマール6887m初登頂 JAC学生隊)

池田常道

South Peak 7240m of Nampaigosum

(ネパール・ナンパイゴスム南峰南稜初登攀)

近藤和美

Slovenian Chomolhari Expedition 2006

(チベット・チョモラーリ北西稜初登攀)

Marko Prezelj

Nenang 6870m Nyaingentanglha East

(東チベット未踏の最高峰ネナン挑戦)

D. MacDonald

2005 New Zealand Tibet Expedition

(東チベット-ビルタソ6550m初登頂)

Sean Waters

Climbing 2006 in Qonglai Mountains

(四川省チョンライ山系の岩峰登攀)

Ben Clark

New Routes in Bolivian Andes

(ボリビア・アンデスーイリマニ南壁新ルート)

横山勝丘

Japanese Climbs in the Himalayas 2006

(日本人のヒマラヤの記録2006)

山森欣一

Japanese Climbers in Pakistan 2006

(パキスタンにおける日本隊の記録2006)

Karrar Haidri

■ Explorations & Adventures (探検・冒険)

Expedition 2006 to East Tibet

(東チベット・易貢蔵布/波推蔵布/崗日嘎布踏査)

中村 保

Ski Expediton to Kangri Garpo 2006

(東チベット・崗日嘎布拉古氷河スキー行)

池田錦重

Walk through glaciers in the Karakoram

(カラコラム六大氷河踏破)

林原隆二

Into the Unknown: a traverse of the Chang Tang

(チャンタン高原冬季縦断)

Janne Corax

Unknown Karlik in Easternmost Tian Shan

(天山の東端―カルリク山群探査)

川上 隆

Part II Glaciers and Climate

(第二部 気候の変化と氷河変動)

Worldwide Shrinkage of Glacier

(世界的規模での氷河の縮小)

藤田耕史

Glacial Lake Expansion in Bhutan Himalaya

(ブータン・ヒマラヤの氷河湖の拡大) 岩田修二

Glacial shrinkage for 40 years in Tian Shan

(天山山脈―最近40年間の氷河縮小) 岩田修二

Glacial changes during 100 years in Karakoram

(カラコラムの1世紀の氷河変動) 長岡正利

Mingyong Glacier of Meili Snow Mountains in China

(梅里雪山の氷河観察記録) 小林尚礼

On Glaciers and Climate in Mongolia

(モンゴル・アルタイの気象と氷河)

門田勤

Environment Terrorist

(インド・ヒマラヤー環境のテロリスト)

Harish Kapadia

N

一代目シェンク作のピッケル

2 6 —

一代目

コフリッ

ツ・シェ 4

ク

3)。さらにアルバムを出してきて

Fritz Schenk 1 8 9

われピッ の的であった。シェンクのピッ 恒も愛用 冶屋シェンク作のピッケル 困難なピッ ったために生産数が少なく、 は1本ずつの完全な手作りであ スイス、 ケル収集家の間でも入手 前の登山家にとって垂 したことから名品の誉れ ケルの筆頭に位置して グリンデルワル は槇 1 われ 0 ケ 有



初代Christian Schenk (1861~1926)

歳位だろうか)

から、

シェンク親

たるローラ・シェンクさん (70

子の生没年を聞くことができた

代クリスチャン・シェ

Christian Schenk 1861~

9 ク

て私の調査には大きな欠陥がある

S エッセイ 短歌、詩などを掲載する ジです。どしどしご投稿く (紙面に限りがありま

会員の皆様のご意見、 すので、1点につき1000字程

はあっ こでシェンクの家を教えてもらっ ケ かではなかった。 だ存在しているかどうかさえも定 廃業している鍛冶屋はその家がま はっきり覚えている。 0) た。サンスター・ホテルの向かい ルトであった。 ル鍛冶についての情報は極めて少 な鍛冶屋ベントの工場を訪ね、 っ先に向かったのはグリンデル ル鍛冶を訪ねる機会を得た。 表札が掲げられていた。 かにもスイス風の家にはSchenk 細い坂道の途中にシェンクの家 私は2年ほど前、 この家で二代目シェンクの娘に 特にシェンクのように既に た。 この時の感激は今でも そしてこれも有名 しかし目の前 スイスのピ 古いピッ ケ 7 ワ 真 " 0

没年も不明

で、

二代目に至っては

ていなかった。

たためにギブンネームさえ分か 銘にF.Schenkとしか打たなかっ

0

これまでは2人の写真はおろか生

有名なシェンク親子ではあったが 彼ら2人の写真を見せてくれた。

代目Fritz Schenk (1894~1973)

ことに気づいた。それは二代目シ

エンク作のピッケルを未だに見た

シャモニのシモンなど著名な鍛冶 シュのウィ できた有意義な旅であ ヘスラー、 旅はその後、 ライフワークとしている私にとっ てこれは大きな成果だった。 マー の子孫に会って話を聞 各国ピッケル鍛冶の歴史調査を かし帰国 ゲルのアンデンマッテン、 リッ ツェルマット近郊タッ 後 ルッチェンタール シュ、 時が経つにつ サース・ア くことが この n 0

> 引き継いだ方はいないだろうか。 ら同15年頃までの間にグリンデル 初めである。第二次大戦前まで作 が跡を継いだのが日本では昭和 前の日本にも何本かは入ってきて 拝借を願いたい もしこの貴重なピッケルをお持ち の銘が刻印されているはずである 前述のようにピックにはF.Schenk はずである。どなたかこのような は二代目シェンク作を手に入れ 本でシェンクの新品を購入した人 を依頼した人、あるいはその頃 ワルトでシェンクにピッケル作 っていたと考えると、 いたことが分かっている。二代目 ている。しかし、古い文献から戦 らに数が少なく、 代目作のピッケルは初代よりもさ ことがないということである。 十本しか現存していないと推測 方がいらしたらぜひ連絡を賜 またはそのようなピッケルを 私は世界中に数 昭和 **元**年 H n か 0

そしてそれがシェンクであったな めに古いピッケルをお持ちの方は 魅せられてしまった変わり者のた 山に登るだけでなくその道具に クの 銘を一 度ご確認頂きたい。

ご連絡頂きたいと切にお願いする らば初代作、 2代目作に関わらず

シュラギントワイト兄弟 による見事な石版画

平野武利

年記念 表紙をも飾っていた。 サミット・オブ・カンチェ 本会の 展示会場を圧し、 「所蔵山岳図書 展望図が、 その図録の説明に ムに掲げられてい 創立100周 その 絵画 図録 ンジュ 展 I 0 る



版である 色刷りの り、正しくは石版である。 " 715号に水野勉さんが チング」とあるのは間違いであ リト と書いているとおりで グラフ、 すなわち石 会報 「すべて 山

らに大きく割れるので、 0) 子をより豊かに表現できることで 別な技法を必要とせずに濃淡の調 ように製版できることである。 ョンなどを用いて普通の画を描く 緻密な石材の上に、 この技術が従来の木版やエッチン 刷技術についての説明は避けるが の水成岩で、 の古い河床から採れる淡いクリー が発明した技術である。 グにない特色は、 として盛んに利用されていた。 ム色の、 ュンヘンの一青年セネフェルダー 上も前1798年、 石とは、 ウ河の支流、 石版による印刷法は、 0 歴史上 炭酸カルシウムが主成分 ミュンヘンの北方、 横に楔を入れると平 画期的な技術であ ゾルンホーフェン その全く平らな 脂肪性のクレ 南ドイツ・ミ その 建築用材 一百年以 特 F

きさは95セン×53センもあるから、 (1858年) ユ ラ ギ ント の場合、 1 1 0 18 紙 ノラマ の大 石

> ればならない。 8世以上はあったと思われ、 6色ならば6枚の石を用意しなけ 重さは相当なものである。 、は必要で、 いと割れてしまうので、 の大きさは少なくとも1M×60 この大きさだと石が 厚さは かも

輸入すると高価なものになるの 写真館を初めて開業した下岡連杖 かかったのか、 なぜ発明から渡来まで60年以上も な美しさに驚き、すぐに石版器材 以上も経った1862年、 が西洋の石版画を見て、 因であったと思われる。 式を取り寄せて作った一 日本への渡来は、 徳川家康の像」 それは石版が重く が残っている 発明 その から60年 色刷り 横浜で 精巧 が

代表例は第5年第3号に折り込み 間にも急速に普及していった。 望める) 本アルプス略図 で添付された、中村清太郎筆の 局が器材の購入と研究を始め、 この 長大なパノラマ図である 石版による印刷は、 しかし明治に入ると大蔵省印刷 にも多く採り入れられ、 石版 頃 である。 日本の石版印刷の技巧 4色刷り、 (信州武石峠より 紅19セン、 3枚つ 本会の その Н 民

や亜鉛の金属板にも製版できるよ を使った立派なもので世界に誇る 地105年次、 された三越呉服店のポスターは天 は極度に発達 うになり、 き作品である。その後、 今日のオフセット 左右755%の三十数色 明治 44年に製作 アルミ

ンチェンジュンガの絵は松方三郎 郎さんが、 く書かれている。 なお、 会報698号に山 ルームに掲げてあるカ 本健

刷については、「『山岳』第百年」(2

05年) に南川金一さんが詳

時代を迎えることになった。

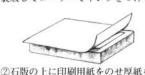
山岳

の表紙等における石版印

松崎中正さんから一 ったこと。その後 さんが入手され会に寄付して下さ あったことなど、 9号に詳しく紹介されてい Щ 一昨年、 揃い 718 の寄贈 会員 0



①まず石版を金板で平らにする。次に 製版してローラーでインクをつける



②石版の上に印刷用紙をのせ厚紙をか ぶせてプレス機でプレスする

活 動 報 日本山岳会の 各委員会、同好会の 活動報告です

スライドと資料」が寄贈 ハリシュ・カパディア氏より インド・ヒマラヤのカラー

交友を深めた。 名誉会員でもあるハリシュ・カパ 集長を30年近く務められ、当会の 物館などを訪れ、 金沢、松本、上高地、大町山岳博 ディア氏が、07年4月上旬に来日 (3度目)された。東京、 『ヒマラヤン・ジャーナル』の編 山岳関係者との 名古屋、

4月4日、 日本山岳会に平山



料として大切に管理し、 吉前会長を表敬訪問、 公開を予定している。 会に寄贈された。 マラヤの資料 た未開放地区のアルナチャル・ヒ ンド・ヒマラヤのカラースライド (35‴゚゚) 540カットと、製本され 資料映像委員会では、 (4 冊) を日本山岳 あわせてイ (羽田栄治) また今後 貴重な資

科学委員会

探索山行「戸隠・飯綱に山 信仰の原点を訪ねる」

で知られる戸隠山麓を訪ねる旅だ。 切りの大型バスで出発した。 参加者は公募した32名と、 行を行なった。 森林インストラクターの末廣委員 員13名の計45名だった。 23日午前7時30分、 6月23日~24日、 今年は、 恒例の探索山 池袋を貸し 山岳信仰 車中、

による、

樹木の漢字名読み方クイ

太々神楽を鑑賞、

留める宿坊跡の石垣が草むしてい と歩く。 風の中を、 者は興味深げに聞き入っていた。 礼宿の栄えていた頃の話など参加 学芸員から飯綱町周辺の歴史を話 左手にはかつての繁栄をわずかに 杉並木が見事だ。 国街道の宿場のひとつであった牟 していただいた。 巨大なミズナラやブナの原生林、 ズで皆が盛り上がっ 「いいづな歴史ふれあい館 その後、 樹齢300年以上という 日本海と太平洋を結ぶ北 約2#」の参道を奥社 戸隠神社へ。爽やかな 館内見学の後、 参道右手の森は 飯綱神社の天狗

盛んですが、昔から人々は山を敬 忘れないで下さい」という締めく 信仰登山」と題した講話を戴いた。 隠小舎。食事の後、 くりの言葉が印象に残った。 の武井芳久氏を招いて「戸隠山と 最近はスポーツとしての登山が 宿舎は、 信仰の対象としてきたことも 今年が50周年という戸 戸隠神社神職

願していただいた。

ろで、 は無事終了した。 予定通り池袋駅で解散、 顔が戻った。帰りのバスはアルコ が、風呂に入ってさっぱりし、 になって西登山道を中社に下りた にはついに降りだした。ずぶ濡れ もいまひとつだ。下山にかかる頃 員が登頂。 ら山頂を目指した。 ルも入って賑やかだった。20時 すがすがしい気分になったとこ 飯綱山登山だ。 風が強く、 約3時間で全 寒い。 南登山道か 探索山行

山研運営委員会

ウェストン祭参加と焼岳登 新入会員のための

天の岩戸伝説に基づいた伝統 午前7時過ぎから戸隠神社中社で 24日、期待に反して曇り空だ。 一行の安全も祈 0 柴山委員がサブとして同行。 しての催しであった。 徳本峠越え記念山行は中止となり 年7月の豪雨災害により、 催しに同期の仲間と参加した。 山研委員会がルートを焼岳に変更 6月2日、参加者15名は、 新会員のために企画してくれた 恒例の

びを深く感じた。

ウェ

ストン祭を

か の 一

員になれた誇

りと喜

田部重治、

足立源

郎、

槇有恒、

であると思われる。

冠松次郎とか

いて抄述した。

大変貴重な記録

準備される信濃支部の方々に敬意

企画された山

研委員に感

謝します。

では1時間ほど大パノラマを楽し 11時30分、 渓を詰める小さな人影が見えた。 界を越える。 方々が待っておられた。 出発から4 北峰が姿を現わす。 男副会長、 の疲れを癒していた。 下山は往路を再び中の湯 30分には温泉の露天風呂で登 第22代宮下秀樹会長、 全員無事北峰に到着 時間後であった。 南峰 理 生事や山 陽光に輝く雪 研 煙上がる 委員 研に戻 頂上 0

うち

会会報

であったかを熱く語られた。 高地の想 と続いた。 金子信濃支部長の挨拶で始ま 地元小学生による献花、 回 [ウェストン碑前祭に 参加者450名を超 い」と題して記念講演を その後、宮下会長が「上 地がい かに山 の原点 参加し えるる

もあっ

たものと思われるが現存し

ていない。

日誌については各年度

ちも加えていただいた。 ご厚意で大勢の参加者の 部主催の午餐会が開 この企画に参加して、 **午より五千尺ロッジで信濃支** かれ、 H 中に私た 支部の 本山

新土曜会会報』の発行

新土曜会

征紀

葉書なども収録させて

の写真

逸して今はない。また、 73年から75年までの3年分は散 0年までである。 ものは1960年12月から20 変遷」は、会報『山 に及ぶ大部なものである。 れている。「日本山岳会のルーム 土曜会ルーム日誌」 このたび新土曜会では 一曜会、新土曜会の活動も含ま 土曜会の歴史」には赤シャ 』創刊号を発行した。 残念ながら19 から調べた の現存する 『新土曜 内容の Ŏ 0

から60年11月までのルーム日誌 1949 飾 転載した。現在の 記録は新土曜会ホ 動記録は会報 「土曜会」「赤 らせていただいた。 シ

参加回数を収録したほか ごとに、 参加者数、 うちトピックと思われる記述に 開催日数、 全出席者氏名、 参加者数、

ていた宮下啓三による会員 深田久弥などの名前も散見され 足立源 の価値はあるものと思う。 土曜会ルーム日誌に 画伯のスケッ の似 画 かれ

> らの肉筆の 員からの寄稿は8人の会員から ていただいた。「新土曜会」 ができた。 山崎金次郎、 た藤島敏男、 ただいた。 松丸秀夫の絵で扉をそれぞれ コ 宮津公一 松本熊次郎、 元会長の三田幸夫、 ピーも収録すること へそ曲がりで知られ 山 + ームページから ツ土曜会」 「新土曜会」 から転載さ の絵で表紙 一の活 0) 会

てい

Ш

嶋新太郎

五百澤智也山岳図集

五百澤智也 著/B5判/144頁/2.940円

(カラー63点、2色刷33点、モノクロ33点、計129点の作品掲載) ヒマラヤと日本の山や氷河の細密鳥瞰図・展望図、地形図、そし てアルプスの山と氷河の水彩スケッチ、さらに日本の氷河地 形分布図と日本列島地貌図など。全作品に解説付。

本書の特装愛蔵本(150部)を好評発売中

五百澤智也が想を新たに装幀した特装上製本/著者の自筆サイ - 入り/付録に「日本地貌図」全国図の大判一葉付。 〈残部僅少!ご注文はお早く、定数しだい〆切〉定価7,350円

《好評発売中の近刊》

山と遺跡と オアシス

内田嘉弘著/A5判/284頁/2520円

富山湾岸からの北アルプス

佐伯邦夫著/四六判/268頁/1995円

比叡山1000年の道を歩く

〔付〕東山の山なみ 竹内康之著/A5判/152頁/1680円

〒606-8161京都市左京区 ヤ出版 Tel. 075-723-0111 ヤ出版 Fax. 075-723-0095 乗寺木ノ太町15 http://www.nakanishiya.co.jp/ 〔表示価格は税込〕

ければと思う。個人的に会報作成 あるのでなるべく多くの会員の方 質が落ちてしまい ものであるが、 と関係の深い方にも順次寄贈させ 1部ずつ寄贈した。 にご協力いただいた方、 ようがない。 目に触れるようにご配慮いただ ただくつもりである。 の現物はもっとすばらし 同好会、 会員に配布した他、 コ 慙愧とし ピーの 部数に限りが 図書室には各 (箕岡三 途中で 旧土曜会 か言 圃 11

各委員会、

全国各地の支部から、 それぞれの活動状況を、 北から南へとリポート

平に着く。ここからは、

燧ヶ岳

が沼尻休憩所周辺に集まってい

て

大きく見える。たくさんの登山者

有料トイレも列をなしていた。

る。尾瀬沼沿いの木道を経て沼尻

自然を守るためと実感す

保護について学習。

トイレの

支笏湖周辺の植樹

湖周辺台風災害復興の森づくり から整地された区域への植樹を開 る風倒木処理を実施し、 実行委員会が、ブルドーザーによ 査は、千歳から支笏湖に至る約20 00周年記念事業の中央分水嶺踏 森林をなぎ倒した。日本山 が関係しており、 2004年9月8日の台風18号 支笏湖周辺の約7000分の 05年は 06年9月 岳会1 支笏

サインポストに 道の木」に指定されたアカエゾマ 樹に25名が参加し、 道支部」と黒色マジックで記名し、 ツ300本を植樹した。晴天に恵 交流もあり、 北海道支部は07年5月 - 3地区に、 会員と会友、 楽しい汗を流した 道民投票で 「日本山岳会北海 家族、 5311林班 20 友人と H 北海 の植

> 日となった。 並みがあり、 日付を入れ、 など中央分水嶺踏査で苦労した山 背景には樽前山、 感慨深い記念すべき 全員で記念写真を撮 モラップ山

マツ、 世代へと広く永遠のサスティナビ 延べ2000人、50%にアカエゾ リティ(継続可能性)を期待したい。 る森づくり運動を、子供から孫の 森に」という長い年月を必要とす 植樹と継続され 翌日の新聞には、「61団体、 今後も根踏み、 と掲載されていた。 トドマツの苗木5万本の植 「木を林に、 下草刈り、 (新妻 個人 林を 秋の

> 対し、 なり、 されている。 場所である。 自然保護運動に力を注いだ 国の特別天然記念物に指定 その後、 高齢者の登山ブーム 国立公園と 至仏山に向かって尾瀬ヶ原を行く

> > することにした。部屋では、

滝の散策を取りやめ、部屋で休憩 に着くと雨が降ってきた。三条ノ

見晴に入る。

本日の宿、

尾瀬小屋

ここから、

白砂峠を越えて尾瀬

尾瀬ウォーキングの旅

桧枝岐温泉に泊まる。

宿を出発。

協初代会長) 創立者の一人、武田久吉氏 にまたがる尾瀬は、 群馬・福島・新潟・栃木の四県 が尾瀬のダム化に反 日本山 岳会の 日山

ター

センターに入り、

が

ら大江湿原を歩く。

尾瀬沼ビジ

して協力している。 0 では、この現状を少しでも福井の 瀬の自然を守っている。 屋の宿泊を予約者のみに限り、 によるオーバーユースから、 人達にも理解してもらおうと、 福井放送の一般募集に指導者と 00年から福井新聞社と、 6月7日、 参加者は福井を出発 福井支部 F 尾 2 В 小

な結論に至った。

を与えてくれる場所である、 気をもらえること、高齢者に元気

リュウキンカの花を見な 沼山峠からミズバ 尾瀬の自然 8日6時30 5 出て、温泉に入り汗を流す。福井ま に向かう。 が降り出した。雨具を着て鳩待峠 参加者は感銘を受けたようだ。 が徹底され、ごみ一つない木道に、 賑わっていた。しかし、自然保護 かわる方々のご苦労に感謝しなが 土曜日でもあり、 鼻ビジターセンターに着くと雨 9日、広大な尾瀬ヶ原に入る。 尾瀬を回想した。 そこからバスで戸倉に 大勢の登山者で 自然保護にか (宮本数男

底された尾瀬の景観から癒しと元

った。そのなかで、自然保護が徹 の人気と自然保護について話し合 録である。

千葉県立中央博物館で

さわってい

た五百澤智也氏

半

紀におよぶ集大成ともいえる図

父宮記念学術賞を受賞している。 地形に関する研究業績によって秩 五百澤氏はヒマラヤと日本の氷河

小疇

尚

に陽気になったという。

|土地理院で地形図の作成にたず

現されていて、

この本が一般の画

文集ではないことを物語っている

本書は地理学者、

Щ

岳画家で

ラヤの自然景観の特徴が見事に表

念に描きこまれたこの図にはヒマ

ている。

細部までは見分けにくいが、

丹

るこの山群は、

青くかすんで地形

彩色ペン画に目をひかれた。

カト

1

のカンチェンジュンガ山群

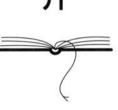
0) カ

本書を手にとって、

まず表紙

山と氷河の図譜

マンズへの定期便の窓から遠望す



智也

山と氷河の図譜

少々、 氷河、 ヤが全体の半分弱、 本地貌図の5部にわかれ、 本アルプスの氷河地形分布図 ラヤの山と氷河、 図類と多様である。 チ、ペン画、それに地形図、 た山の博物画で、 正確であることを旨として描かれ 今春開催された同氏 収められている図は、 地形分類図、 展にあわせて出版された。 そして日本が半分強を占め 日本の山々、 鳥瞰図、 分布図などの地 アルプスの山と 内容は、 日高山脈 0 アル 科学的に Ш スケッ プスが ヒマラ この科学 ヒマ 地貌 H

2007年3月

定価 2940円

ナカニシヤ出版刊 B 5 判 1425

概要把握のほかマウンテンフライ 観する大鳥瞰図からはじまる。 それに続くカンチェンジュンガか ルートの再確認にも便利である。 トやト 地名が付されているので、 には主要なピーク、 ヒマラヤの部は、 レッ キング等の 谷、 山脈全体を大 Ш 町や村の 座同定や 山脈の 义

貴重な図録である。

なお、

著者の

見て楽しく、

科学的にも優れた

ながら模型を見ているようである。

立されたように思われる。 画法は、 写真を実体視して詳細に描いた らダウラギリまでの主要山群ごと リの地形図作成が契機になって確 写真判読の手法を応用したこの描 る方も少なくないであろう。 に連載されていたのを記憶してい 科学画 ペン画は、 後に出てくるヒマルチュ 飛行機から撮影した かつて雑誌

置をずらさずにベン画によって地 者から高い評価を得ている労作で 成された氷河地形分布図 ものは、 形を立体表現したもので、 最後の日本地貌図は、 にはぜひ参考にしていただきたい 本書のほうが細部までよくわかる。 にも収録されているが、 ある。この図は 特徴がよく表わされていて、 本アルプスや日高山脈に行く時 日本の部で学術的に最も重要な 空中写真判読によって作 『新日本山岳誌 山や川の位 色刷り 各地域 研究 0

H

の登山史である。 の事柄を記した貴重な活きた日 後を通じて、 山荘に戦時中より勤務し、 専門店として、大阪に開いた好 が大正13年に日本最初の 実際に見聞した多く 登山 戦前 用具 本 H

三郎氏が来られると、 という。 ルン 下を隔てて向かいには日本山 のメインストリートである御堂筋 の交換場所であった。好日山荘は 岳人の集まるサロンであり、 スキーの用具店とは全く異なり、 した人々は多く、 に面した銀行の3階にあった。 大阪駅から歩いて10分、 関西支部があり、また雑誌 当時の好日山荘は現在の登 したがって大賀さんの接 編集室も同じ階にあった たとえば西堀栄 今も大阪 岳会 Ш 廊

さ

好日山荘往来(上巻)



0

永年会員である。

西岡一

雄さん

著者の大賀壽二氏は日

本山

岳会

2007年2月 ナカニシヤ出版刊 四六判 307分 定価 2625円

13

特別の感慨がある 子の一人であるだけに、 その頃、 話に耳を傾けたものである。 中学時代土曜の午後に愛称 岡さんの店と同じ雰囲気で、 店したが、 ていただき、 にたびたび足を運び、 |真之介氏は神戸に好日山荘を開 前に海野治良氏は東京に、 西岡さんに穂高に同行し 島田さんの店は全く西 西岡さんの最後の弟 本書には 先輩の 島真 また 私も

ち込んだハーケンには、 に着手し、ビブラムの靴をテスト ち早くカラビナ、ハーケンの の銘が残されているという。 ナスル山頂に残る今西寿雄氏が打 たたみスキーを開発し、 中に海野氏と落下傘部隊用の折り した話などが掲載されている。 アイゼンを育て、 装備の発達の歴史であった。 のピッケル、門田のピッケルと 好日山荘の歴史は、 大賀さんは戦時 Н 好日山 戦後はい 本の 登山 7

後の検討課題を述べているが、 験の強い印象を記している。 始まり、 れは立ち会わなかった人の見解と 蒲郡におけるザイルの落下強度試 トした全てのザイルが切断し、 本書は、 最後は希望して参加した わが師・西岡 一雄に テス 今

> 操作技術と判断によらねばならな イロンザイルの使用は、 について見解を求めたところ、「ナ ンドにナイロンザイルの切断事故 は異なっている したフランスのエドワール・フレ また、大賀さんはその と述べたとのことである。 登攀者の 頃に来日

> > る

(大島輝夫)

滝本幸夫・編

北海道中央分水嶺踏査

余話

火海道中央分水預踏查

2007年4月 日本山岳会北海道支部刊 A 5 判 146分 定価 800円

られており、 書には67編の秘話や逸話がまとめ 支部の踏査記録は、 思い到る。 それが中央分水嶺の道程であると 今や日本山岳会員ならば誰しも、 て取り組み、 余る1132㌔を踏破した北海道 岳会の創立記念日に刊行された。 一力は何であったのであろう。 北海道支部がかくも総力をあげ 全長約5000 そしてその5分の1に 底力を発揮し得た原 先の踏査記録の姉妹 1 06年10月、 こう聞くと 山

> 編といえるが、 部長が記されているように、 ての彩りを添えるものとなって た基調であり、 こそ踏査完遂のエネルギーとなっ 記録の裏面史とし 巻頭言で新妻前支 これ

写真が無人の広い雪原を見せて、 予言するかのようである。 げる動作が繰り返されていく事を いよいよGPSを片手に地図を広 秘話には、日本最北の山 名で宗谷岬着」 まず 04年1月2日札幌 から始まっている 丸山 発、 3 0

真が目をひくのである。 のメンバーの雄姿が雪上に並ぶ写 なる北海道、 ご多聞にもれず密生する

低潅木と 登山道は20㍍しかない北海道 厳冬期や積雪期の踏査が長く 息の合った完全装備

思わず引き込まれてしまう。 情が直に伝わってくる。 生々しい原始の息吹きに触れた心 のNG物などというユーモアあ の割岩ト 侮れなかった低山地帯あり、 尺取虫になったり人間になったり、 に直面した。 イラス詣での五体投地に倣って、 予備調査をした人、登攀した人、 長いアプローチ、厳しい レース、ピナクル越え、 熊にも出遭った。 時に撮影 ルー 緊張 り 力

受ける会員の達成感。

白神岳の

頂

フィナーレ踏査は快晴、

参加され

た平山会長から感謝と敬意の辞を

に滲み出ている。

06年4月30日、

最南端白神岬

0

連帯感を強くしていった跡が行

って有能なリー サポートした人、

ダー

Ö

下、

使命感、

で満ち満ちている本書である。

購入希望の方は樋口みな子まで。

(☞)㎏窓江別市野幌若葉町40

だくしかない。

臨場感溢れる言葉

な思いまで……、もう読んでい の眺望を前に胸中に去来した様 にも立って北に延びる山々の最高

た R

・ベット~ネパール チョモランマベースから 鉄道走破と 西寧からラサへ1956km、さらに100

10/2 発 ¥458,000 ンプ経由、カトマンズまで抜ける大縦断の旅 〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-8山内ビル4階 03-3437-8848 E-MAIL info@everest.co.jp

種々の立場にあ

4

ンズークシュ

 \exists

1

ッ

力 ラー

ではない

が、

写真

(は15

山史のす

N

てではない

をきっ

か

けに、子どもたちは、

ヤ

1

を盲学校に招待したこと

・ラヤ

0

ラク

18

.

IJ

70

1

頂

したエリッ

ク・

ヴ I

7

1

工

ン

7 登

として初めてエ が盲学校を設立。

ヴ

L

ストに

そ

0) 1

後、 ツ人教

盲

7

11

巻末には、

登山年表と主

0

たスケッ

チ入りの手紙や、

ウ

I

ネ

7

ほかで全国

口

1

K フ 月

シ

3 > H

10 スシ

お龍と高

千穂に登っ

たあと姉

の位置は6枚の概念図に示され

さらに北米、

南米へ

と広

が U

およぶ。

な

か

には、

坂本龍馬が

トメルー

登

頂をめ

ざす

21

1) 8 E

ネマライズ、

品

Ш 7

1)

FAX 382-9020

⊠mingiga@agate.plala.or.jp (福山美知子)

山と人百話 九州の登山 松尾良彦

2007年5月 弦書房刊 A 5 判 265章 定価 2310円

が

か

乱と人百話

2冊 ある。 執筆した松尾氏がこの本の著者 一である。この中で、 九 の岳人たち 岳会福岡 目 州 が出版され 0 岳人による登 支部発 その登 た。 行による 山 1 Ш 海外編を 史 # 史とし 目 100 は日 元 7

関係する山 れ、 アル 番外話 本書は、 戦 れぞれ 後7 プス 0 が 0 項目 居は からヒマラヤ、 4カ所挿入され 話にまとめてあ ほぼ年代順に は6~ 九州に始ま 0 計 13 11 項目 話 戦 で構成さ からな 力 り る。 7 前 ラ 13 4 る コ H 他 項

> こから読んでもよく、 要文献が記され 読むほどに引き込まれ興味がわく。 読みやすい。 な にもふれて 通 0 読すると、 ており、 話はすべ 13 て2パー L る。 関係する山 かも、 九州の岳人が古代 7 たがって、 0 内容は濃 それだけに 読 み切 岳や岳 n لح

摯に山 50 できる。 歩も引けをとらず、 伝統と文化の中で育ち、 を求めた姿を読み取ること H 本の 登山 界に対 1) 1 F L 真 た 7

戦後、 られて らに、 許可を取得したのは1 526年 よる多くの れている。 で531 福岡山の会」であっ に判 明した初登攀もあ 日本で最初の 15 年 る。 o その 初登頂 o 英彦山 その 他 なか や初登攀が だとい 九州の たことも書 E では 43 95 7 とる。 道 ラ 岳 + うこと。 1年 ŧ 年ぶ 次い 述 登 か 0 Ш 0

信が残るチ

1 か

" れ

1

で、

彼ら

0

魔にとりつ

7

13 り

ると

13

う

前世

の悪行によ

盲

人は

めにやは

り盲目

0

F

師

点も多々あったことが \mathbb{H} 本で の福岡県求菩提立年で開山が最も見 取も早 わ か る。 13 0 が 3

著者自身も述べ とも100話にし ているように、 じぼっ てい いるため、 登

ど九州 多 I 映画 7 13 ストンの 読 異色の登山 むべ が 0 きこと、 読み取 Ŧi. Ш Ш 8 歴 n 槍

ブラインドサ 小さな登山者たち 1

たド されてい する教育者、 子どもたちと、 L キュ マラヤの高峰に挑 メン 登山 A 彼らを 1) 家の姿を追 映 む盲目 画 + ポ が 公開 1 0 1 0)

込書 など貴 重 史といえよう。 な資料 からは、 学ぶ 5 岳 もある。 1 などの 祖母 きこと Ш が ウ U な

申

ス

1

2

0

7

ル

1

>

クラブ入

(松本徰夫)

図書受入報告(2007年6月)

著者 名 筑木力・他(編) 越後山岳(第11号) 越後支部創立60周年記念 慎太郎祭実行委員会(編) 針ノ木岳慎太郎祭 50年の歩み 大森久雄·他(翻訳·編) Museo Nazionale della Montagna (トリノ1874年創設) 'A.Audisio, et als." Museo Nazionale della Montagna (In Turin Since 1874) "A.Audisio, et als." Museo Nazionale della Montagna (A Turin depuis 1874) 山ありて人あり――川崎吉蔵と山と溪谷社 井ノ部康之 オリーブ・チェックランド 明治日本とイギリス(りぶらりあ選書) 穂高光彩(写真集) 鈴木悦子

佐藤謙 北海道高山植生誌 川島由夫 心に山ありて 松本征夫(編著) 崗日嘎布山群---踏査と探検史(地図あり) ヒマラヤの東 円満字正和 登山家高木正孝――その人生とアルビニズム

ページ・サイズ 出版元 刊行年 寄贈/購入別 503pp/21cm JAC越後支部 2007 発行者寄贈 149pp/29cm 慎太郎祭実行委員会 2007 発行者寄贈 イタリア国立山岳博物館 2007 編者寄贈 47pp/17cm 47pp/17cm Museo Nazionale della Montagna 2007 大森久雄氏寄贈 大森久雄氏寄贈 47pp/17cm Museo Nazionale della Montagna 2007 出版社寄贈 439pp/20cm 山と溪谷社 2006 443pp/20cm 法政大学出版局 1996 百年史編纂委員会寄贈 91pp/23x31cm 山と溪谷社 出版社寄贈 2007 688pp/27cm 北海道大学出版会 2007 北海道支部寄贈 295pp/20cm 新生出版 2007 著者寄贈 著者寄贈 818pp/23cm 櫂歌書房 2007 198pp/24cm 円満字正和(私家版) 2006 岡市敏治氏寄贈



(1)広報委員会:鯵坂副会長

お願いする

委員長を指名し、

委員の選任を

②表彰委員会:神崎副会長

③公益法人化推進プロジェクト:

平成19年度第3回(6月)理事会

場所 日時 19年6月13日 日本山岳会会議室 20時30分 18時30分~

委員長:鰺坂青青

山川・岡部各理事、 古野・太田・宮崎・堀井・相馬・ 副会長、斎藤・吉永・藤井・石橋・ 【委任】成川理事 【出席者】 宮下会長、 河野·近藤各常任評議員 深川・竹中各 鰺坂·神崎各

いする。 りたい。 任された。さっそく審議事項に入 緑各評議員が常任評議員として選 議員会で日下田實、 す。さる6月8日に開催された評 い中お集まりいただきご苦労様で 会長挨拶 司会は鯵坂副会長にお願 お暑い中、またお忙し 河野長、近藤

審議事項

1・海外登山基金委員会委員の選

委員:宮崎紘一、吉永英明、 古野淳、小川武、 貫田宗男、 萩原浩司 池田常 相馬

2・秩父宮記念山岳賞審査委員の (承認)

委員長:村木潤次郎 委員:平山善吉、長尾悌夫、 長、錦織秀夫、鹿野勝彦、 浦祥次郎、竹内哲夫、 鰺坂青青 山口峯 河野 松

【欠席】 日下田常任評議員

事務局:宮崎紘一、 吉永英明 (承認)

同好会担当:鯵坂副会長 支部担当:神崎副会長 3・支部・同好会の担当副会長 (承認)

協議事項

1・広報委員会ほかの委員選任に

【報告事項

減の条件であったルーム利用につ いて(宮崎 1・千葉支部発足に伴い助成金削

て使用する。 毎月第4火曜日を支部会議とし

2.委員長会議 (宮崎

4・常任評議員の選任

(宮崎

事務局長:渡邉雄二(No.7914)

明 録を担当理事経由で総務へ提出し 末までにお願いする。委員会議事 の説明。委員長・委員名簿は6月 公益法人化の説明。 ていただきたい。 6月7日開催した。 担当理事の紹介、 旅費規程の説 理事の担当

河野長

(No. 5 8 6 3)

日下田實 (No.4146)

選任された。

第1回評議員会において次の通り

6月8日開催された平成19年度

3 · 栃木支部役員(宮崎

6 · 第49回有志閑談会(宮下会長

6月8日開催、参加者38名。

6月9日開催、

参加者33名。 (宮崎

写真使用許可

ル湯ったり紀行」ウェストンの写

長野放送「NBS月曜スペシャ

5.新旧役員懇談会(宮崎

近藤緑(No.8258)

3 支部長::日下田實 (No.4146) 員は次の通り報告があった。 副支部長:山野井武夫 6月15日設立された栃木支部役 No. 4 6 3

【山麓乗り入れ】

●8/23(木) ●9/3(月) ●9/14(金) ●9/27(木)発 618.000円 -628.000円(ツア

e-mail:info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

快適なフライトでアフリカ最高峰に挑む

(4)長期登山計画プ

ロジェクト・

神

吉永常務理事

崎副会長

キリマンジャロゆったり登頂とサ ホロンボハット(3,720m)に

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル4階 ☎03-3503-1911 大阪 ☎06-6444-3033 名古屋 ☎052-581-3211 福岡 ☎092-715-1557

真。

8・山岳4団体役員懇談会(宮崎

岳連盟事務所にて。 7月19日19時より東京勤労者山

9・寄附 (吉永) 財務委員会より報告

(2)6月7日、 (1)6月6日、 7万円 4347):百年史に対して 図書委員会より図書 田井具世会員 No. 1

交換会売上げ:3万2921

演延期 10・長期登山計画プロジェクト講 7月2日、加藤会員のヒマラヤ (神崎副会長

期したい。 の講演を予定していたが、秋に延

・6月度入会者12名、 復活1名

【その他】

1:| 引継ぎ書 07年5月 2000

長 6~2007)」の説明 (神崎副会

19

2・議事録署名人の選任 太田晃

圆麓 **/**〉 6月

4 日 総務委員会 ケッチクラブ アルパインス 九五会

5 日 図書委員会 ケッチクラブ アルパインス

常務理事会 山岳地理クラブ 指導委員会 1 0 1

6 日

8 日 7 日 委員長会議 評議員会

パインスキークラブ 葉支部 フォトビデオクラブ アル

11 日

12 日 理事会 山想俱楽部 01 会 アルパインスキークラブ 休山会

16 15 14 13 日 日 日 日 アルパインスキークラブ 土曜懇話会

山の自然学研究会

大野哲雄

18 日 日 り会 ネット小委員会 山研運営委員会 資料映像委員会 00 会 千葉支部 インター ゆきわ

21 日 20 日 科学委員会 研究会 三水会 つくも会 アルパインス プモリ

25 日 22 日 総務委員会 キークラブ 資料映像委員会 千葉支部 アルパインス

金子康 会沢 石田紀元 飯塚とみ子(10049) 宇田川芳伸(8025) 8056 6 9 1 1 1 1 5 1 0 北海道 宮城 関 西

終身会員

平野由美 野村勇三 竹内洋岳

東海

青木正樹 $\begin{pmatrix} 6 & 0 & 4 & 7 \\ 0 & 4 & 7 \end{pmatrix}$



27 日 自然保護委員会 キークラブ 指導·

年·海外合同委員会 青

会員異動 (6月)

28 日 図書管理委員会 山遊会 6月来室者58名

シンポジウム「高所登山における突然死を考える」

2007年春チョモランマ頂上直下でおきた商業登山隊事故の検証を通して、高所にお ける突然死と高所登山の戦術を考えます。同商業登山隊は一昨年にもチョモランマで 死亡者を出しましたが、二度にわたる死亡事故で様々な憶測が流れました。酸素が切 れて死亡した、脳浮腫や肺水腫の兆候があった、突然死ではなく高山病で亡くなった、 商業登山隊がとる高所順応を省いた短期間の戦術が原因だ、など様々です。そこでま ず事実を検証、さらに突然死、高山病などの用語の問題、高所登山の戦術と突然死の 関連性などを各分野の専門家に集まっていただき討議します。

主催 =日本山岳会、日本登山医学会、日本山岳ガイド協会 座長 = 増山茂、貫田宗男

パネラー (予定) =池田常道、重廣恒夫、大蔵喜福、山本正嘉、上小牧憲寛 特別発言(予定)=堀井昌子、磯野剛太、加藤慶信、谷口ケイ

●期日と場所

8月8日(水) 18:30~20:30

主婦会館 プラザエフ 8階会議室「スイセン」

東京都千代田区六番町15番地

JR四ツ谷駅 麹町口前(歩1分) 地下鉄南北線/丸の内線 四ツ谷駅(歩3分) http://www.plaza-f.or.jp/information/otoiawase/otoiawase.html

- *出席者多数のため会場を東京体育館から変更しました。
- 費用(資料代 = 500円) 当日会場でお支払いください。
- 定員=先着130名
- 申し込み、問い合わせ先

余子ま

で

3-3

【東京】Ⅲ(03-3437-8848)、Ⅲ(03-3437-8849) № info@everest.co.jp

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-24-8 山内ビル 4 階WEC内

岳沢散策」を計画しています。

申込 定員 費用 日時

7月31日までに、

櫛田

勁

25 名

で(14045-962-3786

シンポジウム「高所登山における突然死を考える」実行委員会 貫田宗男



赤沢林道自然観察会 目然保護委員会

本三大美林 20 名 9 (長野県) 月29日出 (先着順 **め** にご案内します。 つ、 30 日 赤沢自然

期間

8月

1 H

(水)

5

H

・こどもスケッ

チ会

П 14

研運営委 (火)

7

パインスケッチク

毎日行なう。 ・ガイドウォ

1

ミニトー

- クを

宿泊 現地 1万3000円 休養林内 午後5時 去来荘 î 泊3食)

場所

荘前のベ

チ

期間

8月5日 西糸屋山

(日)

1

8

Ĕ

(水)

ラブ協力 員会協賛、

時間

午前

10時~昼頃

古田寛昭まで(四&四 2-949-5631

0

申込

問合

8月末までに、

かメールで川越尚

まで

山の自然学巡検

kawagoejac@mti.biglobe.ne.jp) 185-0011 国分寺市本多3-7 31

申込者に詳細を送ります。 ブチ・オータムコンサート

山研運営委員会

います。

9月2日田

(JR国立駅集合

6000円

(バス代含む

楽しみませんか。 イン片手に、 ンによるチロ 0 ふる秋の夜に生ビールとワ プロ ル音楽とヨー 翌日は希望者と のミュージシャ デ ル を

会場 費用 期日 問合 上高地 9月22日(土) 万200 山研 8月末までに、 0 5 Ź3 日 円 î 泊2食) 堀嘉

ーション 14回上高地インタープリテ 303-6922

第

山の自然学研究会、自然保護委員会共催

期 応 岳 Ш 双六岳集中登山

H 0 の2コー 旅 H です。 W 本 アル 8月24日 くりペ 黒部の源流と名峰槍 スから見参し、 プルの核心部を訪ねる ースで楽しみます。 金~27日月 年齢相

*申込者に詳細を送ります。 ⊠kei35@gf6.so-net.ne.jp

ゆきわり会

■ 18

などの生い立ちを探る巡検を行な

泉武栄氏と岩殿山、

猿橋渓谷

山の自然学研究会

さんけん通信

猿の追い払いキャンペーン 山研管理人 内野慎一

上高地をよく知る方が「バスターミナルや河童橋 の辺りはずいぶん変わったけど、山は変わらないね とおっしゃいます。その変わってしまったことのひ とつに、猿の問題があります。上高地の猿は、人を 恐れなくなってしまいました。道端や木道にまで出 没し、困っています。そこで今シーズン上高地では 「猿の追い払いキャンペーン」を、地元が一体とな って実施します。山研は、河童橋から少し離れた猿 の領域に建っているので、追い払うのは心苦しい気 もします。でも、害を与える猿もいるので安全のた め追い払い、建物へは近寄らせないようにしていま す。

猿は、群れで移動しながら暮らしているようで、 7日~10日に1回、山研の前を通り過ぎていきます。 そのとき山研は、猿の群れに完全に取り囲まれます。 まず先頭の猿がやって来て、1匹また1匹と順に通 り過ぎ、しんがりが通り去るまでにはかなりの時間 を要し、大きな群れであると分かります。先日、山 研脇のハルニレに猿が鈴なりになって、半日ほど夢



山研のテラスにチョコンと座る猿の親子

中で新芽を食べていました。猿にとっては、ちょう ど芽吹きの季節ならではのご馳走です。群れの中に は、わざわざテラスに上ってきて山研の中をのぞい たり、手すりにチョコンと座る愛らしい親子もいま す。

反面、猿に餌を与える困った人間もいます。猿は、 餌をもらったことをきっかけに、人から食べ物を奪 う凶暴な性格になってしまいます。餌をあげること は絶対にしないでください。また、餌をやろうとし ている人を見かけたら、声をかけてやめさせるよう にお願いします。

その他、今シーズンの上高地では「歩行喫煙ゼロ キャンペーン」も行なっています。おいしい空気を おいしいまま楽しめるよう、皆さんもご協力くださ

問

皆川

惠男(国&3042-3

3-30

申込

メー

ル、

F

A X

ガ

キに

問

合

103-3567

121

3

6

1

場

央

て7月31日までに皆川

まで

松屋銀座

泉~槍

から

5

新穂高温泉

②槍ヶ岳コー

ス

新穂高温泉)

①黒陪

Ŧi. 郎

郎

コ

1

黒

部

Ŧi.

岳

5

白川義員

角 詳 細は8月号に掲載します。 31万円を予定 コジウスコ登 130作品を大型額装 「世界百名瀑」写真展 Ш

20年1月

程 海

オース

トラリ

ア大陸

最

高

外山行予告 本山 岳文化学会大会係

8-295-50

1

9

H

10 日分 17 日

日本山岳会会報 山 746号

2007年(平成19年) 7月20日発行 発行所 社団法人日本山岳会 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4

サンビュウハイツ四番町

東京(03)3261-4433 東京(03)3261-4441

発行者 日本山岳会会長 宫下秀樹 編集人 神長幹雄

E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp

印 刷 株式会社 双陽社

加費 動と登 合 所 東京 Ш の人文、 3 5 0 0 月 Ш 者 慈恵会医科大学 24 日 山 (土) Ě 山 了 25 日

申 5 11 込 = 橋本祐吾) 333-岳地域 0811 日の自然、 III 研 市 究など 戸 塚2 登山 0 4

> 山と御在所 (東海支部) 行、 12月3日 御 在 0)

詫びして訂正します。 6月 (745) íЦ 所山 誤りでした。 晚餐会記念山 は、 頁 下 か

投

訂正とお詫び

第5回日本山岳文化学会大会

日本山岳文化学会

minagawa_yasuo@ybb.ne.jp

入場 00円 般800 (チケットぴあ) 前売り:一般50 Ě 高大生

双六 双 ス 公六小 (新穂高温 小 屋 で展

会場 会期 区銀座。 閉場 松屋銀座8階大催 10 時 月

示 1 20 日 時 (水) 最 13 H H (月)

は 17 時